

# 平成 26 年度青南幼稚園子ども赤十字活動

## 港区立青南幼稚園

- 住 所：港区南青山 4-18-17 ●連絡先：03-3402-0758
- 幼稚園長：西澤 尚子
- 幼稚園紹介：南青山の中にあつて、自然に恵まれた園庭を有し、子どもたちは毎日自然に触れ、自分の好きな遊びに夢中になって取り組む幼稚園です。3年保育が始まり3年目を迎え、幼児同士の異年齢交流を意図的に行い、年齢に応じた心の育ちも大事にする教育活動を進めています。
- 幼稚園規模：児童数 86 名 3 学級
- 教育目標：よく考えて遊ぶ 友達をたくさんつくる じょうぶな体をつくる 青南の子

活動の種類	活動の単位	活動期間	教育課程上の主な位置づけ
国際理解、奉仕	全園	通年	

## 活動のねらい

幼児自身の直接体験を大切にし、担任教師との関係を基盤に学級や園内の友達、保護者や地域の方、近隣保育園や幼稚園、小学校の子ども同士など多様な人とのつながりを感じて、社会の中で自立し協働できるような発達を促す。

### 【年間活動計画】

日程	活動目標	活動内容
5月7日	・よいことを進んでする子になろう ・1円玉募金、使用済み切手集めをしよう	・登録式（子ども赤十字の話を書く） ・バッチ、ワッペン配布
5月7日以降、 毎月曜日	・できるときにできることを継続しよう	・1円玉募金
9月1日	・お世話になった人に感謝の気持ちを伝えよう ・1円玉募金を続けよう	・絵葉書の話を書き、絵葉書を描く ・1円玉募金
12月9日 12月10日	・園庭や歩道をみんなできれいにしよう	・人に役立つことを自分の力で話を聞く ・園庭・歩道の清掃をする
1月8日 1月14日	・園庭や歩道をみんなできれいにしよう ・1円玉募金を続けよう	・人に役立つことを自分の力で話を聞く ・園庭・歩道の清掃をする ・1円玉募金
1月13日	・いろいろな人とかかわりを楽しもう	・昔遊びの会 ・使用済み切手でしおりを作る
3月2日	・1年間自分たちが行った1円玉募金や切手・カードの収集が役立っていることを知ろう ・これからも、よいと思うことは進んでしよう	・子ども赤十字の活動や心持について振り返る ・1円玉募金や使用済み切手等の1年間の集計を確認する ・赤十字社へ1年分の募金等を贈呈する

## 具体的な活動内容

### 活動1「1円玉募金」

#### <ねらい>

- 幼児にもできる、分かる形で、他の人の役に立つことの喜びが感じられるようにする。
- 年間を通して活動を続け、継続することの大切さ、意義を知る。

#### <内容>

- 1 5月初めに、赤十字集会を行い、幼稚園の子どもでもできる、他の人の役に立つ活動があることを紹介する。他の人の役に立つことをしてみようと思う子どもは、赤十字の子どもである、とバッチ、ワッペンの贈呈式を行い、赤十字の子どもとしての意識をもたせるようにする。（4、5歳児は全体での集会、3歳児は学級での集会）

- 2 保護者に手紙を配布し、赤十字活動の意味、子どもにとっての意義を伝え、協力を仰ぐ。
- 3 毎週、週明けの日に登園時、門内に1円玉募金の箱を置き、幼児が自分で募金をする。  
（子どもには、これはおうちの人の協力があることでできることであることは5月に伝える）  
できるときに、できるだけのことをするのでよいことを伝える。
- 4 使用済み切手・カードも、学級ごとに保育室で集める。
- 5 9月、1月の学期初め（始業式の後）に赤十字集会を行い、前学期の1円玉募金の集計を伝える。  
3学期分は、3月に5歳児とともに数える。年度の集計を出し、保護者会で保護者に伝える。

### <取組の様子>

- 年長児は3年目になり、週明けは1円玉募金、ということが定着している。自分の財布に1円玉を入れて家から持ってくる幼児も多い。また、朝、他の幼児が募金しているのを見て、保護者に「1円玉募金だった、1円玉ある」と保護者に聞き、その場で保護者から渡されて、募金する幼児もいる。
- ペットボトルで作った募金箱なので、どれ位貯まったかが目に見え、増えていく様子を喜ぶ姿がある。
  - ・募金の貯まってきた募金箱を両手で持ち上げ「重い！」と教師に伝えてくる。
  - ・9月初めに1学期分の金額を知らせると、「すごい、たくさん」と喜ぶ様子がある。



### 活動2「清掃活動」

#### <ねらい>

- 幼児にもできる、分かる形で、他の人の役に立つことの喜びが感じられるようにする。
- 普段は自分が生活している周りを清掃してくれている人がいることに気づき、感謝の気持ちをもつ。

#### <内容>

- 1 子ども赤十字集会を開き、地域の清掃活動について話をする。
  - ・赤十字の子どもとして、募金以外にもできることがある。
  - ・身近な地域の人役に立つ活動である。(12月に実施するので、3～5歳児までの全体集会)
- 2 保護者に手紙で幼児にとっての意義を知らせるとともに、用具等の持ち寄りなどの協力を募る。
- 3 12月と1月に、4、5歳児は赤十字のスカーフ、3歳児はワッペンを付けて清掃活動を行う。
  - ・5歳児は、グループごとに範囲を決め、教師が一人ついて園外の地域清掃を行う。(箒、ちりとり、ごみ袋等を使用)
  - ・3、4歳児は、園庭の落ち葉拾いをする。一人ずつビニール袋を持ち、拾ったものを入れ、最後はごみバケツにみんなの分を集める。
- 4 みんなで清掃したものを集め、たくさん集めたこと、清掃をしてきれいになったことを伝え、地域の人の役に立つ喜びが感じられるようにする。

### <取組の様子>

- 3、4歳児は、園庭の中で安心して落ち葉拾いをする。ワッペンやスカーフをすることで意欲が高まる様子が見られる。積極的に落ち葉を見つける様子が見られた。
- 5歳児は、園外の道路での清掃活動を行うが、路上の落ち葉だけではなく植え込みの中の枯葉も掻き出してきて、たくさん袋に集めていくことが意欲に繋がっていた。
- 歩行者の方に「掃除をしてくれているの。ありがとう」と言ってくれる方がいて、はにかんだように嬉しそうな顔をしていた。
- 事前に保護者に伝えると、箒を持って来てくれる。



### 活動3「お世話になった方へはがきを出そう」

#### <ねらい>

- 敬老の日にちなみ、祖父母や普段会えない方に感謝の気持ちを伝える。
- はがきを自分たちで出しに行くことで、思いを伝える手段、地域の様子を知る。

#### <内容>

- 1 保護者に手紙で趣旨を伝え、園からはがきを渡し、住所・宛先を記入して子どもに持たせてもらう。
- 2 幼児と、宛先の方について話をしながら相手のことをイメージできるようにし、幼児が絵を描く。伝えたい言葉

や絵について、担任教師が幼児から聞き取り、言葉を記す。

- 3 自分の書いたはがきを持って、みんなで近所のポストに投函しに行く。(安全指導も兼ねる)

#### <取り組みの様子>

- はがきを出す方について担任と話す中で、「行くと遊びに連れて行ってくれる」「遠いから、あまり会えない」などの話が聞かれた。
- 幼児がはがきに絵を描くときに、自分の好きなものや自分の顔の他、祖父母の顔や祖父母にまつわるもの(祖父母の家や近所の様子、行った時のことなど)を考えながら描いている。
- 届くことを楽しみにしてポストに投函しに行く。
- その後、一人の園児の祖父より幼稚園にお礼の手紙が来る。孫と祖父をつなぐ活動、そういう教育への感謝と、孫に会いに行きたいという思いが書かれていた。

#### 活動4「昔遊びの会」

##### <ねらい>

- 幼児がいろいろな方(地域の方や友達の祖父母)と触れ合い、遊びを楽しむことを通して人とかかわる体験を豊かにする。
- 幼稚園が地域の人に親しまれるように、幼稚園の施設・設備を使用して、地域の教育力を活用する。

##### <内容>

- 1 地域民生委員の方、また在園児を通して昔遊びを教えてください方を募る。
- 2 昔遊びについては、お手玉、あやとり、折り紙、紙工作、コマ回し、コマ製作、めんこ、けん玉、おはじきなど、集まってくださった方が得意なものとする。
- 3 3歳児は、保育室に祖父母の方に来ていただき、簡単なものを教えていただきながら遊ぶ。
  - ・4、5歳児は、教えてくださいの方に遊戯室でコーナーに分かれていただき、幼児が好きなところで教えていただきながら遊ぶようにする。(学年ごとに時間を区切りそれぞれのコーナーでじっくり教えていただけるようにする)
  - ・4、5歳児については、赤十字活動で集めた使用済み切手を使ったしおりづくりコーナーも設定し、幼児は各自1枚は作るようにする。

#### 活動5「外国の文化に触れよう」

##### <ねらい>

- 地域がら、外国籍の子どもや海外生活を経験している子どもがいるので、多様な文化を知り、身近なものと感じられるようになる。
- 世界には多くの国があることを知り、いろいろな国への関心をもつ。

##### <内容>

- 1 運動会のときに旗作りをし、その際、国旗の絵本を見ながら多くの国、国を象徴する多様な旗があることを伝える。

- 2 2学期に、保護者に募り、外国文化の紹介をしてくださるよう依頼する。(内容は自由、時間も5分でもよい、とする)
- 3 学級毎(学年毎)に、応募してくださった保護者と担任とで打合せをし、日程・内容を検討し実施する。(今年度は、4歳児…パナマと中南米の挨拶・歌・民族衣装や写真を見る、5歳児…ドイツの挨拶・歌・ドイツ語で絵本の読み聞かせ)

##### <取組の様子>

- (5歳児・ドイツの紹介)
- 地球儀でドイツと日本の距離を見て、子どもたちは「近い」と反応するが「飛行機で12時間位かかるのよ」と聞くと「2時間?12時間…」と遠距離であることを感じた様子であった。
- 国について、ドイツの森、ドイツ語についての話を聞き「知っている」「聞いたことある」と聞き入って「へー」という反応で関心を示している。友達の保護者が話をしてくれているので、反応が出しやすく、やり取りも活発であった。
- 絵本の読み聞かせでは、担任が日本語で読み、同じところをドイツ語で保護者の方が読む、という形でグリム童話の「赤ずきん」を読んだ。
- 保護者にも呼び掛けると関心をもった保護者が何人も集まり、一緒にお話や絵本を熱心に見ていた。
- (4歳児・パナマの紹介)
- スライドを使ってパナマの街、海辺や山村、生活や子どもたちの様子を見る。同年代の子ども映像に親しみをもって見る様子がある。また、歌を教えてもらって一緒に歌ったり、民族衣装や踊りを見せてもらったりしたことに関心が高まり、「パナマに行ってみよう」という声が子どもたちからあがった。

